



カンボジアの子どもたちに教育を

ニュースレター 74号

2023年8月

コロナ禍で制限されていたため、この3年半当会の活動は限定的にならざるを得ませんでした。5月に代々木公園で開催された、『カンボジアフェスティバル』への参加から日本での活動を再開いたしました。7月には音楽イベント『Music Innovation』で、当会の紹介、募金活動をさせていただきました。現在は、スタッフ中心での活動ですが、秋以降はコロナ以前のようなボランティアさんを募っての活動を行っていく予定です。

カンボジアでは、当会が支援する識字学校の授業も正常化しております。通ってくる子供たちの数はコロナ前より増えているようです。詳しくは次号でお知らせします。

今後もみなさまのご支援をお願いいたします。

◆カンボジア便り

若松晴美

カンボジア人スタッフのリティさんが個人で始めた、経済的により困難な環境に置かれている子供たちの生活費・学費のサポートをしている現地の“Drinking Friends’ Fund”* を2020年より積極支援する活動を始めましたが、支援をしている3人の子供のうちの1人、Chhay Piseth君が昨年、通っていた首都プノンペンにある Tuol Ampil 高校の卒業試験に優秀な成績で合格したとの大変嬉しい報告がありました。



高校を無事に卒業し、現在は同じくプノンペンにある Royal University of Laws in Phnom Penh(王立法経大学)でITを基礎とした経済学を学んでいます。学費確保のためにアルバイトもしているそうです。彼はこの分野にとっても興味があり、勉強を頑張っているとのことでした。

Piseth君は、リティさんが最初に支援を始めた男の子です。父親はおらず、母親は行方不明、という状況でした。リティさんと出会う前は、ギャングと付き合ったり、麻薬に手を出したりしていた不良少年でしたが、こうして無事に高校を卒業し、興味のある分野について学業を続けることができていること

を聞くことができ、家族のように嬉しく思います。Piseth 君がこうして大学まで進学することが出来たのも、ひとえに、支援をくださる皆様のおかげであることを感謝とともにお伝えさせていただければと思います。

次号では、諸般の事情で正規小学校に通えない子供たちのために当会が支援している 識字学校 の様子を詳しくお知らせします。

(* ”Drinking・・・”とは、ビール一杯のお金を寄付しよう！という意味でつけられていますが、現在はお酒代に関係なく寄付を募っています。)

◆カンボジアフェスティバルでの出店を終えて ～実開催イベントへの復帰～

一色 薫

日韓アジア基金は、グローバルフェスタ JAPAN、文京区国際交流フェスタにアジア文化会館 (ABK)秋祭りと、イベントでの出店を通じて支援メンバーや活動メンバーを募り、カンボジアへの支援金を集めてきました。そんな当基金にとって、コロナ禍にあってリアルでの活動が大きく制限されたここ数年は痛恨であり、鬱々とももの思いに沈んでいました…が、2023年5月3日、ついに日韓アジア基金が、実開催イベントに戻ってきました。



3年半ぶりの復帰舞台となったのはカンボジアフェスティバル。2015年に始まった本フェスは、今回で 7 回目を数え(当基金としては、初出店)、東京は代々木公園で、例年延べ10万人規模が訪れる国内最大のカンボジア関連イベントです。日カンボジア友好70周年を迎える今年、その記念すべき年にふさわしい日カンボジアの人気アーティストがステージを舞い、70 にも上る企業・団体が集ってそれぞれのブースを設け、カンボジア料理に飲み物、衣装に雑貨等々が販売・展示されました。

その一角に、日韓アジア基金もブースを設置。禁断症状が出ていた実開催イベントの空気を吸い、空では燦燦と太陽が輝き、周りからは出演者や出展者の声が飛び交う。当基金メンバーの士気はいやがおうでも高揚します。

今回のスタッフメンバーは、日韓・老若男女混成の全7名。5月3日・4日の2日間を3名ずつ程度でローテーションを回します。ブース前でリーフレットを配布し、ご興味のある方はブースの展示物を見学してスタッフが説明を付加、賛同くださる方がお気持ちを募金箱に残す。これが、イベントでの当基金のスタイル。今回はその定番スタイルに加え、新たに特製うちわを導入。当基金期待の新鋭にして女子高生メンバーの発案ですが、強烈な日差しが照り付ける会場で、これが大当たり。うちわの配布をきっかけに、フェス来場の方々と多くのコミュニケーションが生まれました。

フェスの2日間、数々の方が当基金に賛同くださり、頂いた寄付は 28,107 円(ありがとうござい

ざいました！)。少し考察しますと、過去に参加したイベントに比べ、お1人当たりのご支援額が多かった印象で、国を特化したイベントのため、カンボジアに思い入れの強い方が多かったことが影響したのかもしれませんが。(もちろん大事なのはお気持ちで、金額の多寡ではありませんが。)

あとは…有体に言いまして、打ち上げも醍醐味ですね。一仕事終わった後に、仲間と飲むカンボジアビール、最高でした！銘柄は Angkor、アンコールワットのアンコールですね。(クメール語で Angkor は、王都、ワットは寺院の意)。随分と缶が空いたのは、カンボジアのもつ煮がおいしかったからでしょう。(決してメンバーが呑兵衛なわけでは…)

振り返れば今回の活動でも、たくさんの出会い・交流がありました。基金のスタッフ同士、他ブースの方、大使館や留学生といったカンボジア人の方、カンボジアに魅せられ日本人の方、さらには他のフェスのボランティア仲間まで。また来年ここで再会する方に、そして新たにお会いする方に、当会の最新の活動内容をお届けできるよう、しっかりと1年にとの思いを胸に、そろそろ筆をおかせていただきます。



～初めてのボランティア～

高校生 新居愛子

ゴールデンウィーク真っ只中のカンボジアフェスティバル当日は、半袖でも汗が滲むほど暑い日でした。私は会場についてから、まず日韓アジア基金の活動とカンボジアの教育の現状をスタッフさんに教えていただきました。私はそのお話を痛切に感じました。お話を聞いた後、私は団体のホームページの QR コードやカンボジアの子供達の写真が載ったうちわを配ったり、スタッフさんに聞いたお話をもとに私たちのブースに来て下さった方々に活動内容を説明しました。

とはいえ、私が説明できた方々は二日間でほんの数名です。初めてのボランティア活動という事もあり、1日目は恥ずかしさや不安で、なかなか声をかけたり、うちわを通りがかりの人たちに渡す事ができませんでした。ですが、時間がたつと慣れてきたのか、だんだんと声が出るようになり、笑顔でうちわを配ることができるようになりました。しかし、声を上げながらうちわを配



る時、必ずしも通りがかった人たち全員が受け取ってくれるとは限りませんし、受け取ってくれたとしても必ずブースに入って直接話を聞いてくれるかと言われればそうでもありません。そんな中、2日目にうちわを受け取って、ブースに入ってくれた1組の親子がいました。私は自分の言葉で、感情を込めて活動内容や私の心に残ったカンボジアの教育の現状を説明しました。1日目に私が説明を聞いた時に感じた胸の痛みを、どうしても伝えなかったのです。すると、その二人が「少ないけれど、力になれるなら…」と、寄付をしてくれたのです。私は、自分の伝えなかったことが伝わり、人の心を動かすことができたということが嬉しくてたまりませんでした。

今、私は学校で卒論作りに取り組んでおり、そのトピックは「教育と収入」です。このトピックにした理由の1つはこのカンボジアフェスティバルで知った、ある程度の収入がなければ公立の学校さえも通えないというカンボジアの現状です。私はまだ高校生でバイトもできないので、多額の寄付はできません。そんな私が、カンボジアや他の国の、教育を満足に受けられない子供達に何が出来るかは、まだわかりません。だからこそ、これからもこの日韓アジア基金の一員としてカンボジアの教育に少しでも貢献できたらと思っています。

◆音楽イベント(MUSIC INNOVATION 2023)参加

水谷 充徳

7月1日に会社の有志が主催の音楽イベントに参加しました。

この音楽イベントは会社の創立記念日である7月1日に音楽を通じて輪を広げていこうということで主催者、スタッフ、ライブする出演者が、みな、同じ会社で構成され、ひらかれました。音楽イベントとしては今年で二回目でした。



今回、この音楽イベントに当会としてライブの準備の合間に二回、当会の紹介とメッセージを観客の皆さんへ発信し、募金を呼びかけました。合わせて音楽イベントの司会者の方からも募金を呼びかけられ、とても良い雰囲気の中、当会から参加した8名が和やかに思い思いに紹介することができました。また、募金箱二ヶ所、当会を紹介するスライドを柱に貼らせていただいたことと当会から参加した8名が、交代交代で募金箱の前に立ち、多くの方へPRすることができました。これとは別に当会理事の柳さん、長内さんの差し入れのお菓子を観客一人一人にお渡しできたこともあったためか、たくさんのご寄付をいただきました。

MusicInnovation 主催者の方、スタッフの方、ライブの出演者の方、観客の方、差し入れを下された方、当会から参加されたスタッフのみなさんにこの場を借りて御礼を申し上げます。

来年も音楽イベントで募金箱を置けるよう今から少しずつ働きかけたいと思います。今回、音楽イベントを通して当会の紹介、募金箱を置いて募金を呼びかけることができ、まさに輪が広がったのかなと思っています。



事務連絡

丸山芳彦

- ◆2022年12月12日～2023年7月25日に会費・ご寄付を下さった方(敬称略・順不同)
ありがとうございました。頂いたご寄付は大切に使用させていただきます。

田中慶子	川越基督教会	福本正勝	武之内教男	丸山芳彦	岩見豊子	佐藤和之
小林栄次郎	丸山健太	高柳直正	福島忠男	加藤郁雄	工藤早苗	川崎由紀子
吉沢玲子	木下マズミ	木村由美	石谷草	波多野淑子	福島悟	伊藤潤
松本美里	吉村悦子	柳明姫	米村典子	丹羽真幸	柴田健次	松本忠雄
千葉まゆみ	藤井幸子	綾部政徳	井上卓也	五十嵐安雄	江上千春	柴田義之

『Music innovation』では、東芝のみなさまにたくさんのご寄付をいただきました。

- ◆**イベント関連** コロナ感染症を考慮し、各イベントはスタッフだけで対応いたしました。
- ・5月3日、4日 代々木公園で開催された『カンボジアフェスティバル』に参加。
(参加者:新居、水谷、長内、黄、一色、ウダバル、丸山 敬称略)
 - ・7月1日 川崎で行われた音楽イベント『Music Innovation』に参加。
(参加者:水谷、柳、長内、一色、黄、若松、ウダバル、丸山 敬称略)
 - ・今後(以下のイベント)は、コロナ以前のように、ボランティアを募った活動を再開いたします。
イベントが近づきましたら、ボランティア募集サイトやSNSでお知らせいたします。
 - ・10月 アジア文化会館まつり (当会はブースを出して活動の紹介を行います)
 - ・12月 ニュースレター75号 発送作業

◆ご入会・ご寄付のお願い

活動会員: 年会費 5000円 学生2000円
賛助会員: 年会費 1口 5000円 学生2000円
法人会員: 年会費 1口 10万円
ご寄付: 2000円以上 おいくらでも

活動会員: 活動に参加いただける方
… 総会での議決権がございます

賛助会員: 定期的にご支援いただける方

■郵便振込口座

支店名: 〇一九 (セトイサキ) 支店
口座番号: 00180-2-25153
口座名: 日韓アジア基金

(ニッポンアジア)

■クレジットカードでのご寄付

⇒⇒⇒

(当会の紹介もご覧できます！)



ご寄付くださった方には、年数回発行の
ニュースレターを送ります。

また、感謝の意を込めて、ささやかな
プレゼントを年1回ニュースレターに同封
させていただきます。

<お問い合わせ先>

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館(ABK)内

E-メール: nikka17@iloveasia2.sakura.ne.jp Tel:080-6761-1951(担当 丸山)

HP : <http://www.iloveasiafund.com> Facebook、Twitter もご覧ください！

— 発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也 —